

***D*esign the Future**

2012年3月期
決算説明会

●●●
DAICEL

株式会社ダイセル

2012年 5月 14日



目 次

2012年3月期 業績	P 3 ~ P 7
2013年3月期 見通し	P 8 ~ P 11
セグメント情報	P 12 ~ P 26
3D-I 中期計画の取り組み	P 27 ~ P 32
設備投資額推移	P 33
減価償却費推移	P 34
連結貸借対照表	P 35
総資産・有利子負債推移	P 36

Design the Future

2012年3月期 業績



業績概要

単位：億円

	2011/3	2012/3	増減	増減率
売上高	3,537	3,419	△117	△3.3%
営業利益	327	204	△123	△37.6%
経常利益	316	211	△105	△33.2%
当期純利益	168	118	△50	△29.6%

為替レート

87円/\$

79円/\$

連結損益計算書

単位：億円

	2011/3	2012/3	増減	備 考
売上高	3,537	3,419	△ 117	数量差 △59 単価差 △59(為替 △138)
売上総利益	839	707	△ 132	
販売費及び 一般管理費	512	503	△ 9	
営業利益	327	204	△ 123	数量影響 △29 その他+14 価格影響 △108(為替 △39)
営業外損益	△ 12	7	+18	金融収支改善 +8 為替損益改善 +9
経常利益	316	211	△ 105	
特別損益	△ 19	△ 11	+7	
税金等調整前 当期純利益	297	200	△ 97	
法人税等、 少数株主利益	129	81	△ 48	
当期純利益	168	118	△ 50	
為替	87円	79円		

株主還元の様況

当期の期末配当：1株につき5円

当期の年間配当：1株につき10円

自己株式の取得：400万株（18億円）

	' 11 / 3	' 12 / 3
株主還元性向	21.2%	45.2%

株主還元性向 30%を目標にしています

※ 株主還元性向 = (配当額 + 自己株式取得額) ÷ 連結純利益

売上高・営業利益分析

【売上高】

単位：億円

	2011/3	2012/3	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	766	721	△44	△8	△37
有機合成	809	765	△44	△64	+21
合成樹脂	1,370	1,336	△34	△29	△5
火工品	529	532	+3	+41	△38
その他	64	66	+2	+2	
合 計	3,537	3,419	△117	△59	△59

【営業利益】

単位：億円

	2011/3	2012/3	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	121	78	△43	△8	△26	△9
有機合成	69	54	△16	△18	△14	+16
合成樹脂	146	99	△47	△16	△52	+21
火工品	59	50	△9	+15	△15	△9
その他	13	10	△3	△3	0	0
全 社	△80	△86	△6	0	0	△6
合 計	327	204	△123	△29	△108	+14

Design the Future

2013年3月期 業績見通し



前提条件

			2012/3		2013/3	
			上期実績	下期実績	上期計画	下期計画
為替レート			81円/\$	78円/\$	80円/\$	80円/\$
原料	メタノール	欧米 コトラク外価格	\$430	\$435	\$445	\$445
		アジア スポット価格	\$367	\$382	\$400	\$400
	原油（ドバイ）		\$109	\$109	\$120	\$110
	国産ナフサ		57,000円	53,100円	60,000円	52,000円

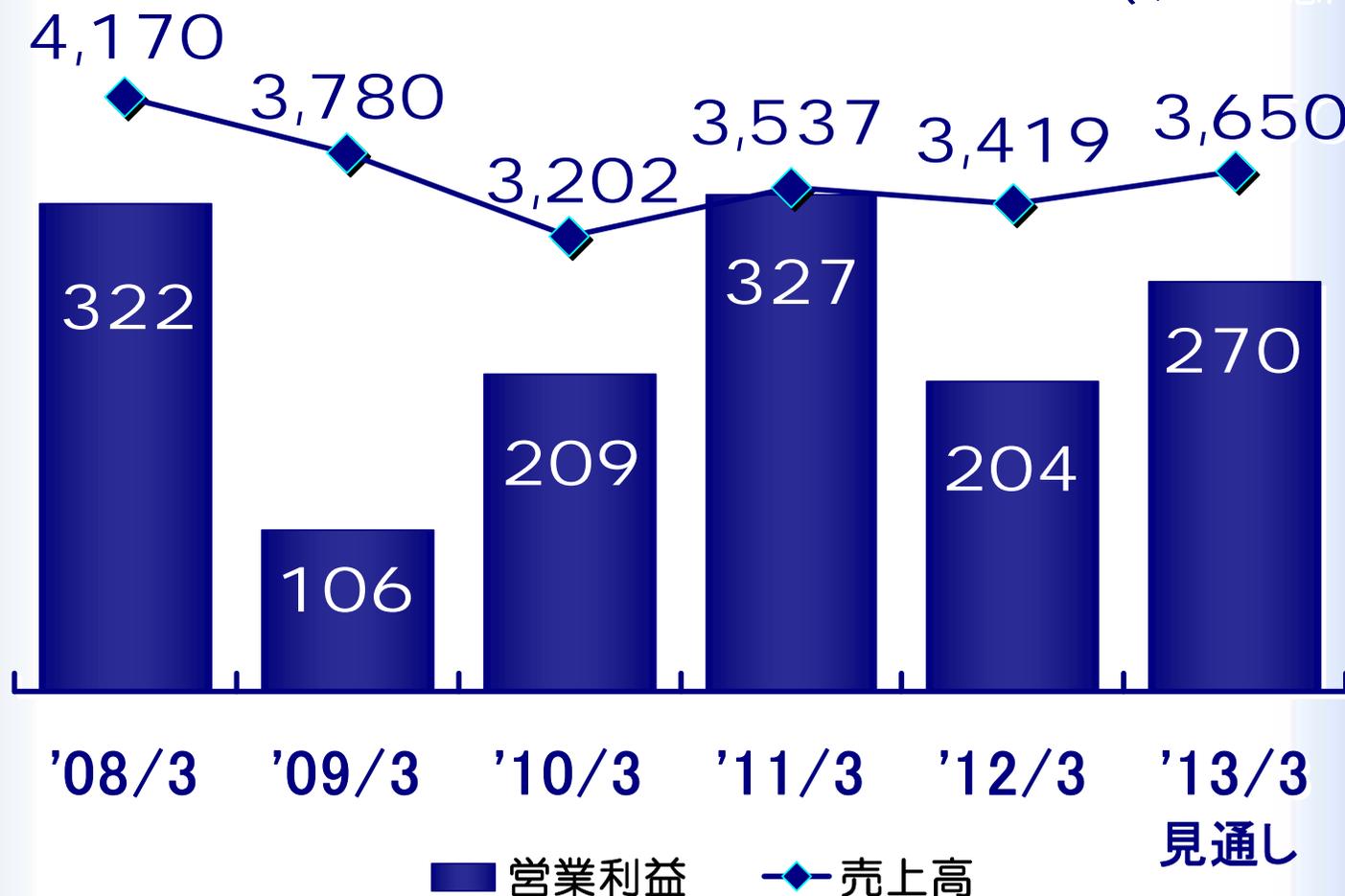
2013年3月期業績見通し

	2012/3 実績	2013/3 見通し	増減	増減率
売上高	3,419	3,650	+231	+6.7%
営業利益	204	270	+66	+32.2%
経常利益	211	280	+69	+32.7%
当期純利益	118	160	+42	+35.3%

為替レート	79円/\$	80円/\$
-------	--------	--------

売上高・営業利益の推移と見通し

(単位：億円)



Design the Future

セグメント情報



セルロース セグメント

売上高

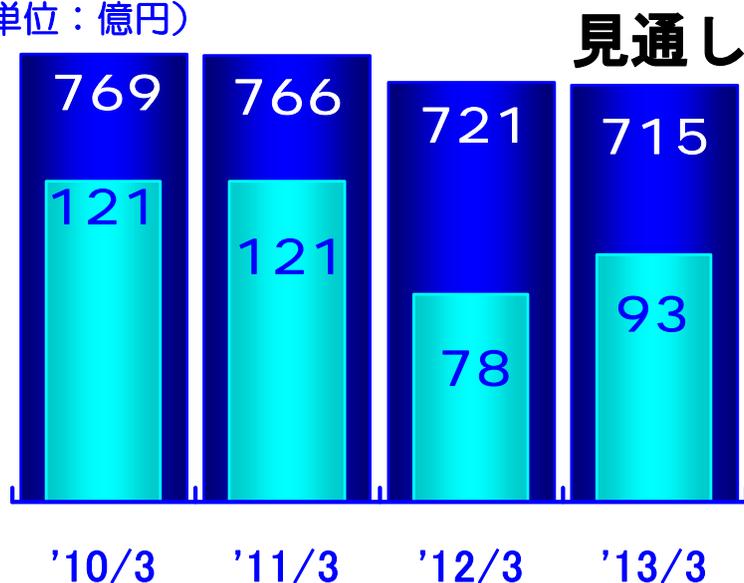
為替の影響
△36億円

- ・酢酸セルロース
TAC：薄型テレビの販売不振の影響を受け、減収
- ・たばこフィルター用トウ
海外向け好調も、円高の影響で減収

営業利益

円高、原燃料高により減益

(単位：億円)



2013年3月期 見通し

- ◆ 酢酸セルロース
TAC：液晶テレビ市場の不透明感、フィルムの薄膜化や収率改善などにより
販売数量 減
- ◆ たばこフィルター用トウ：フル生産
減価償却費の減少 等で 増益。

アセテート・トウ | 大竹工場増設 / 網干工場能力増強



大竹工場



2013年7月稼動開始予定
アセテート・トウ製造能力は、約1割増

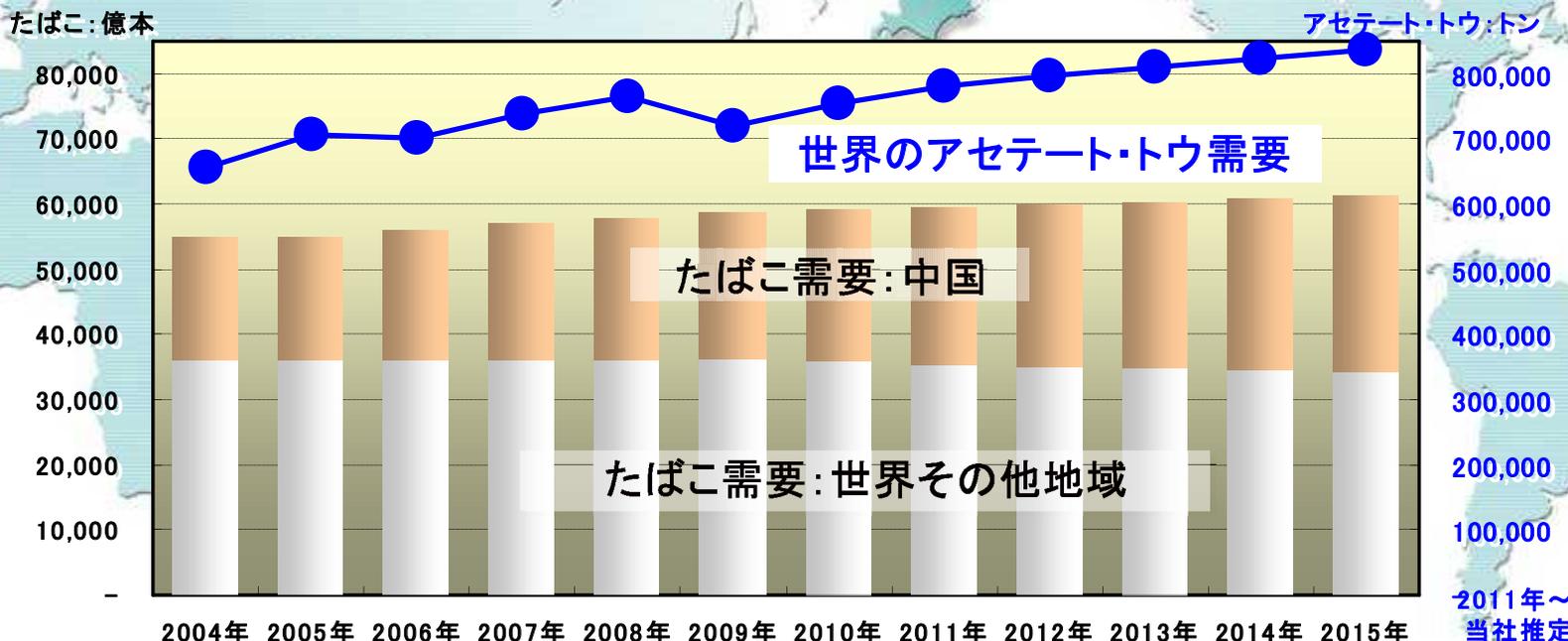
網干工場



たばこフィルター用アセテート・トウ事業の強化

世界のアセテート・トウ需要の拡大を背景に、
国際的に競争力の高い生産体制の構築を目指す

- ◆ 三菱レイヨンとのアセテート・トウ製造の合併会社設立
- ◆ 大竹工場増設と網干工場生産能力増強
- ◆ 中国JVにおけるアセテート・トウ製造能力の増強



世界のたばこ需要は、アジア、アフリカ、東欧などの新興国を中心に伸長

有機合成 セグメント

売上高

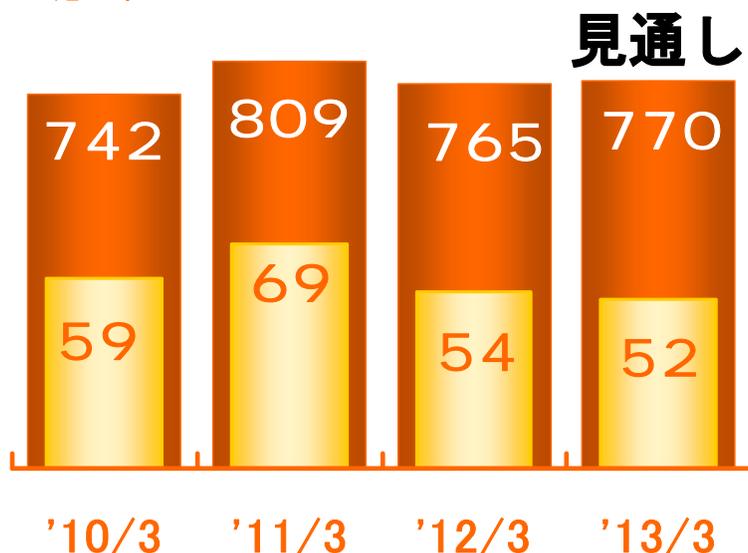
為替の影響
△22億円

- ・ 酢酸 秋以降の需要停滞、網干工場の定期修繕が影響し、減収
- ・ 酢酸誘導品等汎用品と機能品
酢酸エチルは堅調 電材向け需要の落ち込み、円高の影響で減収
- ・ C P I 中国・インドほか海外向けのカラム販売好調で増収

営業利益

円高や原燃料価格高騰により減益

(単位：億円)



2013年3月期 見通し

需要は、
 上期：低調
 下期：緩やかな回復傾向と予測

原燃料価格の上昇が
 収益を圧迫し、減益

酢酸エチル生産能力増強

エタノールチェーンの拡大強化

大竹工場の酢酸エチルの生産能力を5割増強

2009年 7月 エタノール法での酢酸エチル製造を開始 (年産5万トン)

2011年11月 酢酸エチル能力増強 (年産7.5万トンに増強)



電材用途の粘接着剤向けや
グラビア印刷用インキ向けの
需要の拡大に対応

ソルビン酸の製造を中国拠点に集約

ソルビン酸、ソルビン酸カリウムの製造を
新井工場から中国拠点に集約



競争力のある体制を構築

ダイセル(南寧)食品添加剤有限公司

キラルケミカル事業

上海拠点の移転・拡張



北京分室
Beijing Branch
2011年1月設置

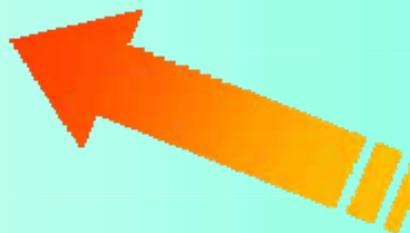
2011年春 開業

新施設へ移転・拡張
2013年春 (予定)



完成予想図

ダイセル薬物手性技術（上海）有限公司
Daicel Chiral Technologies (China) Co., Ltd.



合成樹脂 セグメント

売上高

〔 為替の影響
△53億円 〕

- ・ポリプラスチック（12月決算）：△42億円
震災影響、電材向け需要の落ち込みによるLCP減、円高で 減収
- ・ダイセルポリマーGr.： + 6億円
震災影響はあったが、一部復興需要で増収

営業利益

- ・円高や原燃料価格高騰により減益

(単位：億円)



2013年3月期 見通し

- ◆ ポリプラスチック
 - ◆ ダイセルポリマーGr.
- 自動車向け中心に
販売数量が回復し、増益

Polyplastics

アジア・パシフィックの体制を強化

New Resin Creator
ダイセルポリマー

Polyplastics

- ◆ 韓国に販売会社 **POLYPLASTICS KOREA LTD.** を設立
- ◆ マレーシアで、ポリアセタール(POM)の重合能力増強
- ◆ 台湾コンパウンド能力増強と中国コンパウンド拠点の設立

New Resin Creator
ダイセルポリマー

- ◆ タイに販売拠点 **Daicel Polymer (Thailand) Co., Ltd.** を設立

Polyplastics

POM増設 / コンパウンド増強

アジア全域に
安定的な供給体制を構築

コンパウンド能力増強

南通に新設

2013年秋
操業開始予定

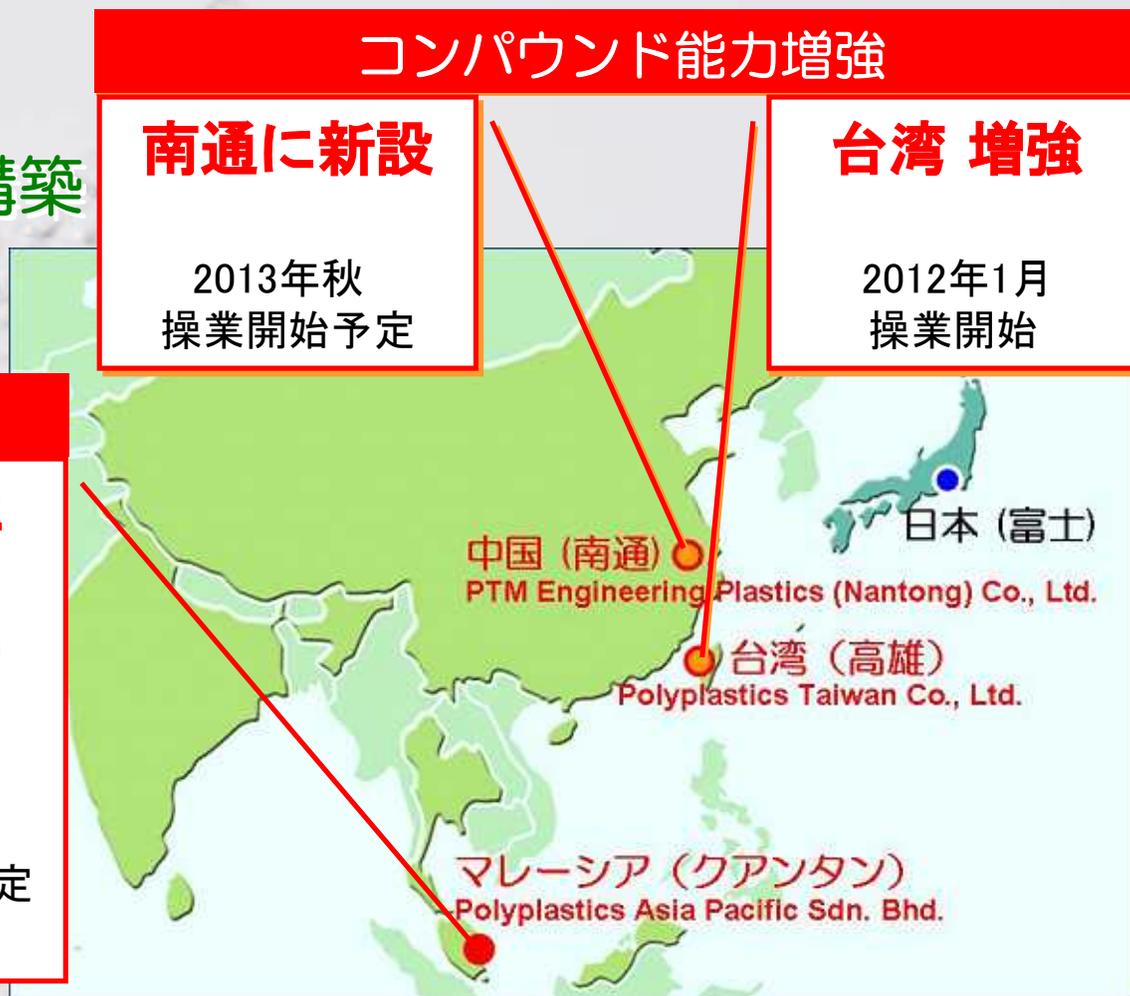
台湾 増強

2012年1月
操業開始

POM増設

**マレーシアに
増設
(9万ton/年)**

2014年初
商業運転開始予定



Polyplastics

エンプラ事業をグローバルに推進

北米に販売会社 **POLYPLASTICS USA Inc.** を設立



Topas Advanced Polymers GmbH



POLYPLASTICS USA Inc.
デトロイト 2012年7月1日：営業開始

Topas Advanced Polymers, Inc.

- ◆ 自動車関連を中心に生産拡大が続く、米国の日系ユーザーへの対応
- ◆ アジアに進出する米国企業に対して、より密着した、きめの細かい営業開発活動を推進

「DMノバフォーム株式会社」発足

ダイセルノバフォーム(株)と三井化学子会社の東北ポリマー(株) 合併

2012年4月1日 新会社 **DMノバフォーム株式会社** 発足



- 果実用包装資材における全国展開
＜販売エリア＞
ダイセルノバフォーム: 関東地方以西
東北ポリマー: 東北地方
- 土木建築用資材など非農業分野での
ダイセル、三井化学両グループの販売チャネルを活用した拡販
- 両グループの技術開発力を活かした
新製品開発の加速、物流費削減などの業務効率化。

出資比率:	
ダイセル	65%
三井化学	35%

高発泡プラスチック製品事業の基盤強化

火工品 セグメント

売上高

為替の影響
△26億円

・インフレータ事業

震災やタイ洪水による自動車減産の影響を受けたが、販売が持ち直し、数量は過去最高を記録
4,218万個 ⇒ 4,705万個 (+487万個)
円高の影響もあり微増収

営業利益

円高と1Qの設備稼働率の大幅低下が影響して、減益

(単位：億円)



2013年3月期 見通し

- ◆ インフレータ
2012年度
5,900万個 (+1,195万個)
販売数量の大幅増加により増益

インフレーター事業 | 韓国に生産・販売会社を設立

Daicel Safety Systems Korea, Inc.

韓国 永川(ヨンチョン)市

2011年11月設立

2013年度末 生産開始予定



韓国に世界6拠点目となる生産・販売会社を設立し、
世界の市場環境、経済環境の変化に対応した
グローバルな最適生産・販売体制を整える

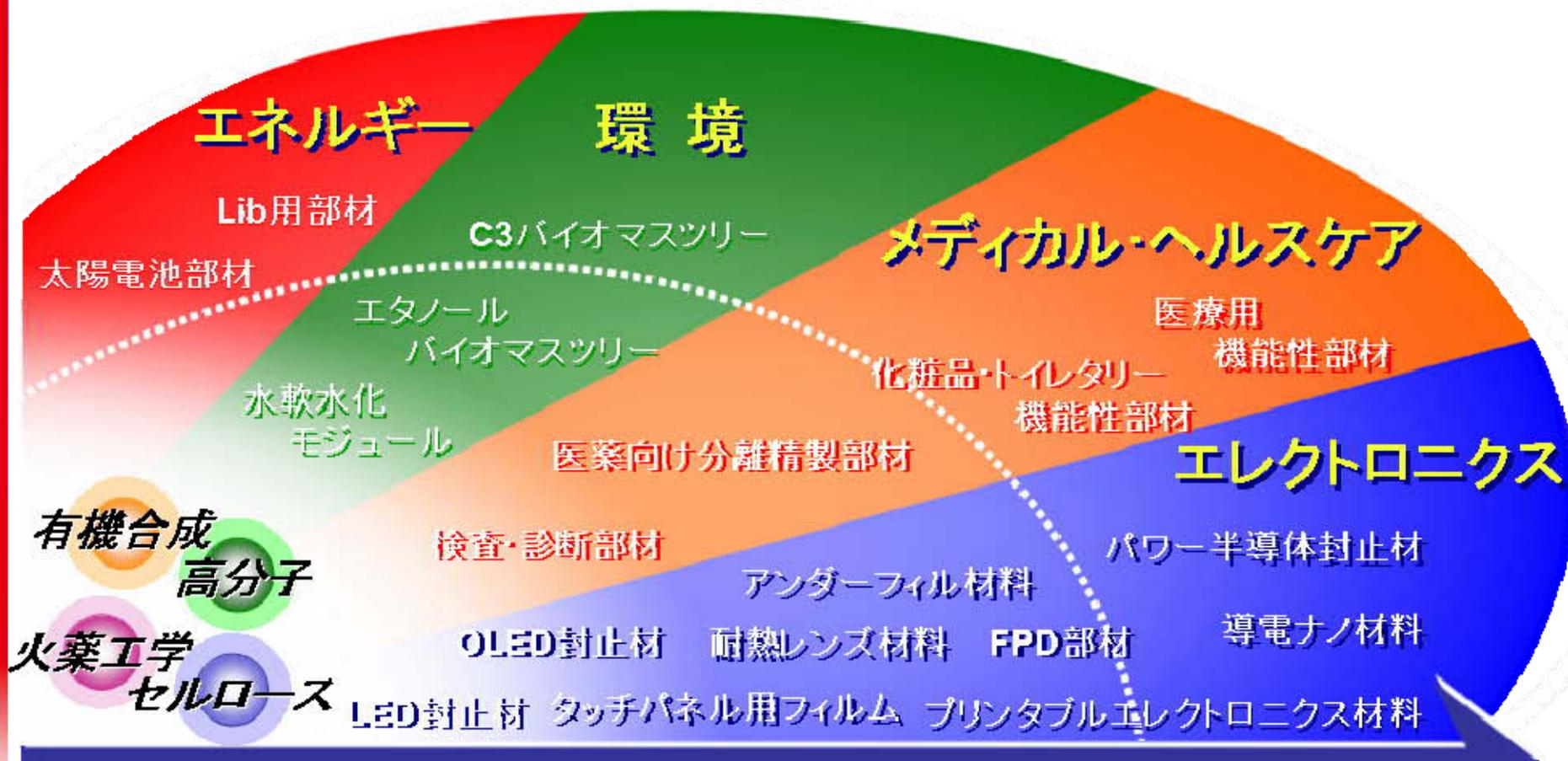
Design the Future

3D-I 中期計画の取り組み



新規事業創出（ターゲット領域）

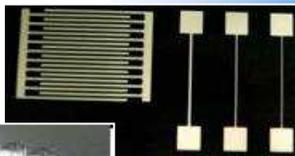
独自に培ってきた技術をベースに求められる機能をカタチに変える



Design the Future

新規事業創出

-  **LED、OLED封止材のソリューション拡大**
エポキシ、非エポキシ、シリコン~ワンストップでの提案 
-  **可視光応答型酸化チタン系光触媒**
壁紙、衣料品、カーペット等で採用 



-  **機能化学品、機能フィルム**
携帯電話向けカメラレンズ材料、タッチパネル向けフィルム、透明封止シート、プリンタブルエレクトロニクス材料 等において、顧客との取り組みが進展
-  **超分散ナノダイヤモンド**
播磨工場に商業生産にも対応可能な
爆射試験設備を設置し、2012年度中に稼働予定

《期待される分野》
ガラス代替、電気・電子、エネルギー、バイオ医療分野など

コスト競争力強化 / 基盤強化

世界最高効率の高効率発電用ガスタービン導入

世界最高効率の
「30MW級高効率発電用ガスタービン」を原動機とした
コージェネレーションシステムを網干工場に導入

今秋より本格稼動

- ① 発電効率: 40%以上、
コージェネ総合熱効率: 80%以上
- ② 窒素酸化物排出濃度: 15ppm以下に抑制
- ③ ライフサイクルコストの大幅な削減

さらなる製品の競争力強化
と
CO₂の削減を実現



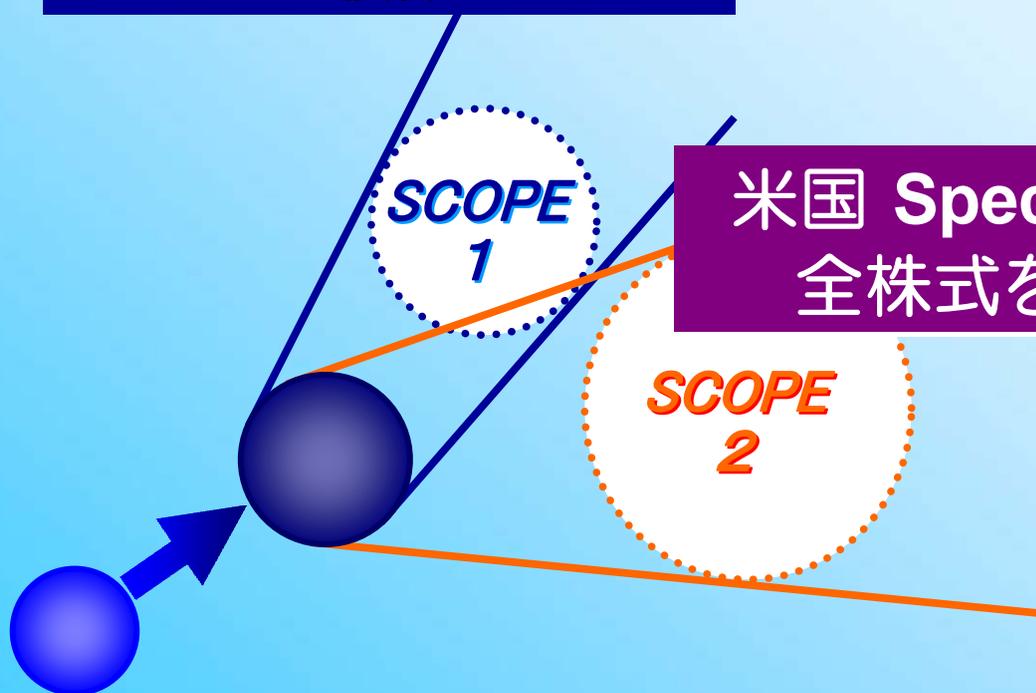
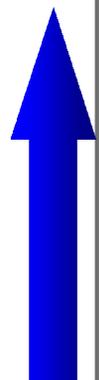
川崎重工業(株)新規開発の
30MW級高効率発電用ガスタービン

戦略的M&A

新事業プラットフォームの
獲得

コア事業の
基盤強化

収益率



米国 Special Devices, Inc.の
全株式を取得（子会社化）

SCOPE
2



売上規模



パイロテクニクビジネスの基盤強化

SDI社買収により



- ◆ イニシエータ（インフレータの着火部品）の製造能力を拡大
- ◆ インフレータ、PGGに加え、イニシエータもグローバルに販売
- ◆ 生産効率の向上
- ◆ 新製品の開発促進
- ◆ グローバルでの販売チャネルの拡大



DSSK

DSS



DSSA / DSTA

DSSC



SDI



DSST / DSTT

SDI

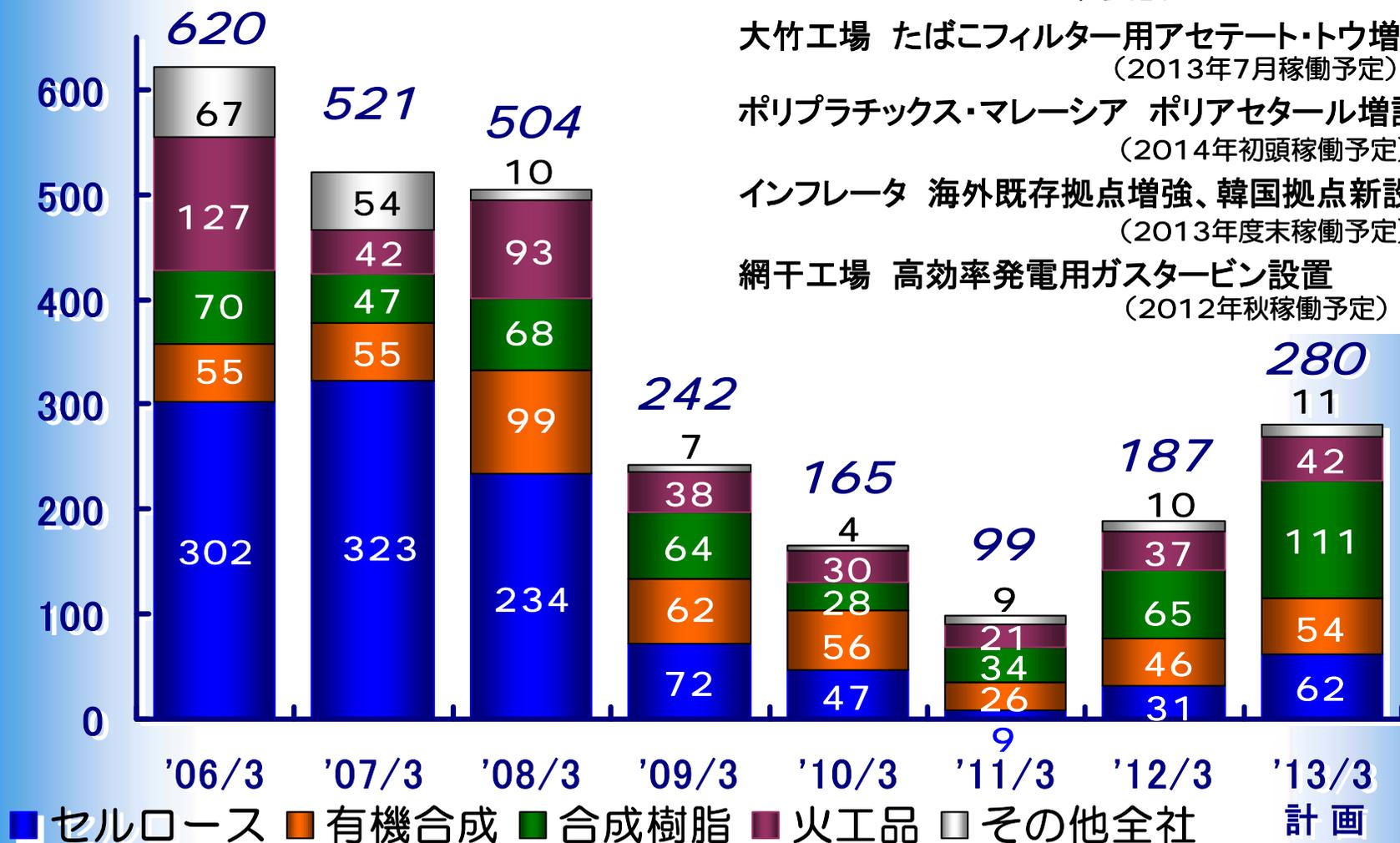


設備投資額推移

単位：億円

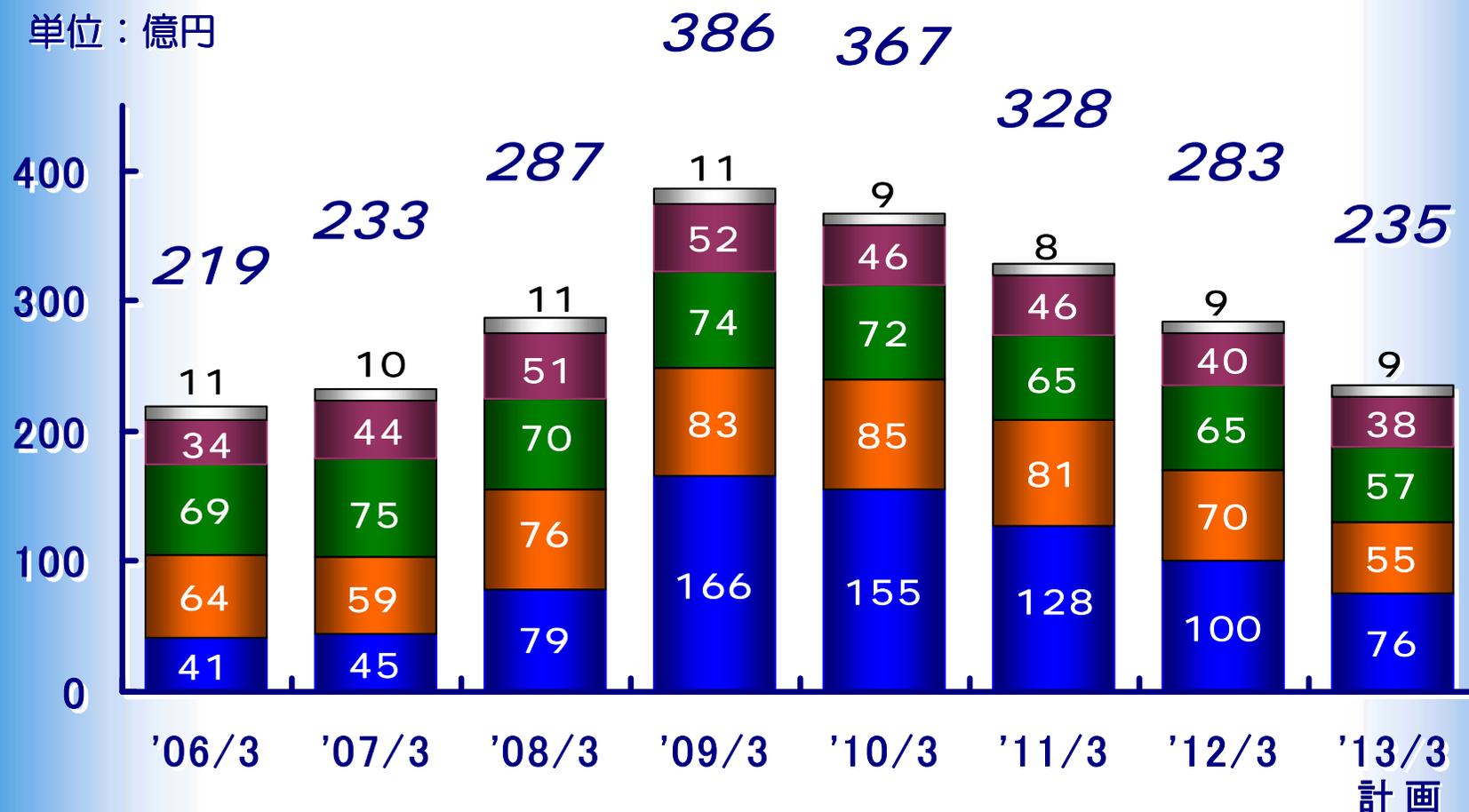
＜2012年度計画＞

- 大竹工場 たばこフィルター用アセテート・トウ増設
(2013年7月稼働予定)
- ポリプラチックス・マレーシア ポリアセタール増設
(2014年初頭稼働予定)
- インフレータ 海外既存拠点増強、韓国拠点新設
(2013年度末稼働予定)
- 網干工場 高効率発電用ガスタービン設置
(2012年秋稼働予定)



減価償却費推移

単位：億円



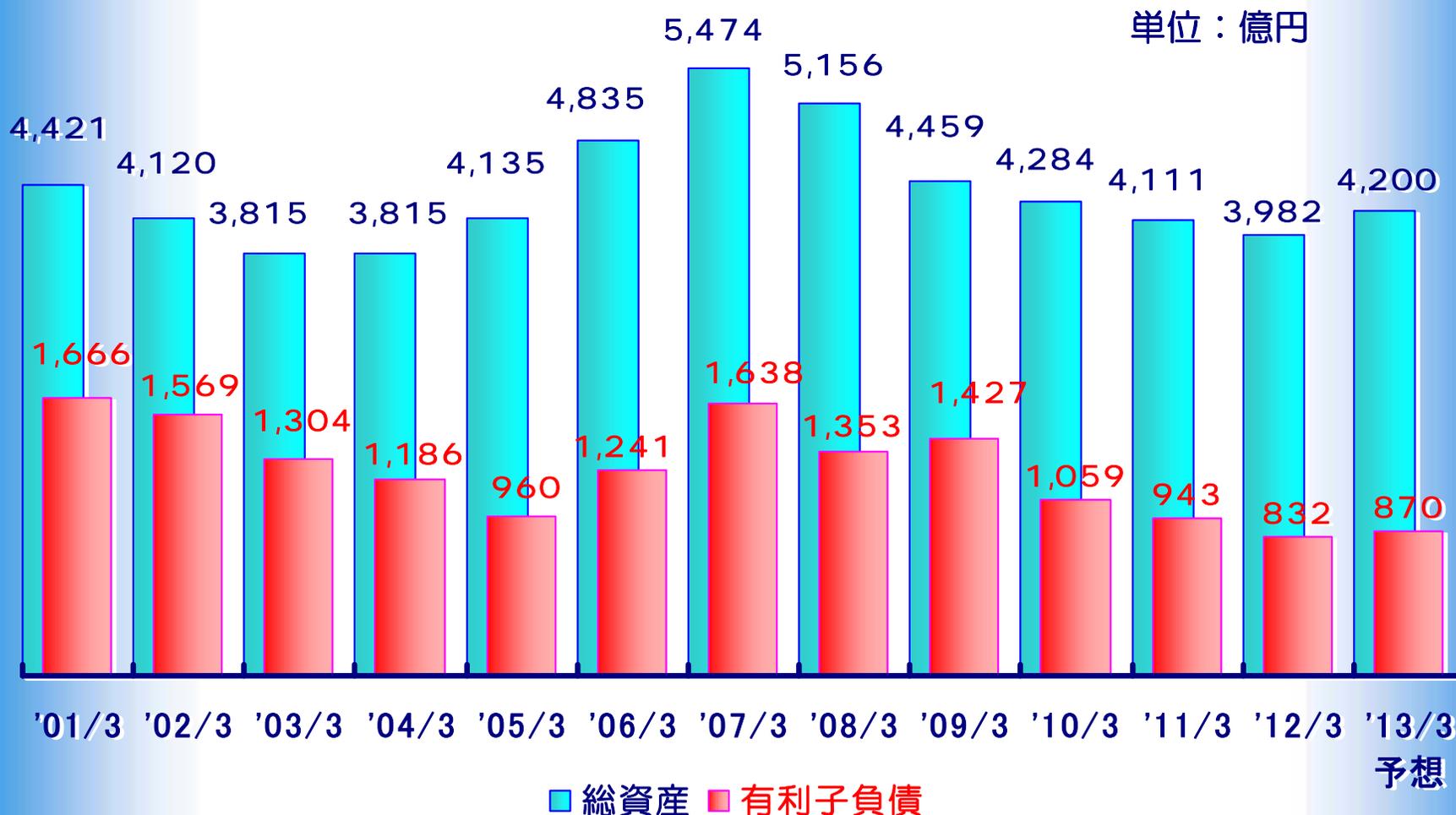
■ セルロース ■ 有機合成 ■ 合成樹脂 ■ 火工品 ■ その他全社

連結貸借対照表

単位:億円

	2011年 3月末	2012年 3月末	増減	備 考
流動資産	1,979	1,972	△7	
現預金及び有価証券	441	356	△85	
受取手形及び売掛金	706	767	+60	
棚卸資産	705	711	+6	
その他	127	138	+11	
固定資産	2,132	2,010	△121	
有形固定資産	1,507	1,392	△115	取得 181、償却 △273
無形固定資産	28	24	△4	
投資その他資産	597	594	△2	
資産合計	4,111	3,982	△129	
負債	1,757	1,635	△122	
有利子負債	943	832	△110	有利子負債比率 20.9%
その他	815	802	△13	
純資産	2,353	2,347	△6	自己資本比率 54.7%
負債純資産 合計	4,111	3,982	△129	

総資産・有利子負債推移



予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は、株式会社ダイセルに帰属します。
いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

化学をベースに
化学を超える。

DAICEL
株式会社ダイセル

